

# 震災のためにデザインは何が可能か



日本の危機を救う新しいデザイン提案  
 社会にあふれる問題の本質をつかみ、  
 幸せな解決策を示すこと、  
 それが「美しいデザイン」です。

著者：hakuhodo+design / studio-L

刊行：2009年5月

出版社：NTT出版

定価：本体2800円+税

## <目次>

- 第1章 震災+designプロジェクトの概要
- 第2章 避難生活の現在 201X年首都直下型地震発生
- 第3章 継続を促すデザイン
- 第4章 決断を支えるデザイン
- 第5章 道を標すデザイン
- 第6章 溝を埋めるデザイン
- 第7章 関係を紡ぐデザイン
- 第8章 避難生活のためにデザインは何が可能か
- 第9章 社会のためにデザインは何が可能か

## <著者より>

私たちはデザインには少なくとも2つの力があると信じています。

問題の本質を一挙に捉え、そこに調和と秩序をもたらす力  
 美と共感で多くの人の心に訴え、社会に幸せなムーブメントを起こす力

これまでデザインの力は主に商業領域で用いられていました。この力を、大きく揺れている日本・世界の人々の安心のために活用することが私たちの挑戦です。

私たちは日本が抱える数多くの社会的課題の中で、震災、特に震災後の避難生活に焦点をあて、デザインの力を活用した社会的課題の解決を試みました。本書では、その試み「震災+designプロジェクト」を通じて生まれた26のデザインアイデアと方法論を提案します。

### 【震災+designプロジェクトとは】

“ある大都市で大地震発生、居住地を失った300名が小学校の体育館へ一時避難”という設定のもと、避難生活で起こる空間・情報・食糧・医療・治安などの課題を検討し、解決のためのデザインを企画した産学協同プロジェクト。

社会課題解決に強い意欲を持つ様々な分野（建築、グラフィック、プロダクト、医療、社会学等）の大学生ら22チーム44名が参加。

広域な視点のデザイン114案が集まり、第一次審査（22案を選考）、福岡でのデザイン発表、阪神淡路大震災避難経験者の講評会を経て二次審査を通過した優秀15案（最優秀3案含む）を2009年3月に発表いたしました。

<http://www.h-plus-design.com/1st-earthquake/index.html>

### 【hakuhodo+design】

HAKUHODO DESIGN社長の永井一史をリーダーとして、日本及び世界が抱える社会課題の解決及び新たな生活提案に向けて広義のデザインの持つ可能性を研究し、実践していく博報堂の社内プロジェクトです。

<http://www.h-plus-design.com>



読みやすさを追求した書体を使用